

令和6年度学校評価（教育活動診断より）

12月に実施した「教育活動診断アンケート」へのご協力、ありがとうございました。今年度もタブレット等を活用し、子どもと保護者の両者に協力していただきました。2月21日に「学校運営協議会」を開催し、8名の委員の皆様とアンケートの分析（※）を行いました。

※分析については、教育活動診断アンケートの評価1（よくあてはまる）2（ややあてはまる）3（あまりあてはまらない）4（あてはまらない）とし、1と2を合わせた肯定的評価の数値を基に行っています。

全体的な傾向・特徴

児童の回答では、肯定的評価80%以上が20項目中16項目、70%以上が17項目でした。残りの3項目は、昨年同様悩みと読書についてです。80%以上の項目が2項目、そして肯定的な評価が年々増加しています。一方、保護者の肯定的評価80%以上を示したのは20項目中7項目、70%以上が16項目、残りの4項目は授業、読書、宿題、朝ごはんでした。昨年度に比べて大きな変化は見られませんでした。

問①「学校が楽しい」問④「授業は、わかりやすい」と感じている児童が9割近くいました。子どもも先生も「やってみたい」と思う授業づくりを展開していることが要因と思われます。また、様々な制限も緩和され、元気よく外で遊んだり、校外学習に出かけたり、各種行事等ができるようになってきたりしたことも、「学校が楽しい」と子どもが感じる要因ではないかと思えます。

質問項目		R6	R5	R4
①学校はたのしい	児童	94%	90%	91%
	保護者	87%	90%	92%
④授業は、わかりやすい	児童	89%	91%	88%
	保護者	69%	75%	77%

右の項目は、児童相互、児童と教職員との関係に関わるものです。問⑥問⑦共に過去2年間大きな変化は見られません。問⑦は高評価であります。問⑧に関しては年々少しずつ評価が下がっているのが気になります。相談できる友達や先生がいる子どもたちがいる一方、悩みが継続する傾向が伺えます。今まで以上に教職員間の情報共有を意識し児童理解に努め、子どもたちが長い間悩むことのないよう、さらに努力していきたいと思えます。

質問項目		R6	R5	R4
⑥こまったときに、相談できるともだちがいる。	児童	86%	86%	85%
	保護者	71%	80%	81%
⑦こまったときに、相談できる先生がいる。	児童	78%	80%	79%
	保護者	71%	76%	74%
⑧いやなことをいわれたり、されたりしたこと長い間なやむようなことは、なかった。	児童	66%	67%	71%
	保護者	73%	76%	79%
⑪先生たちは、あなたたちのことを思いやり、きちんと話を聞いたり話をしてくれたりしている。	児童	93%	92%	92%
	保護者	89%	91%	91%

問②あいさつについて、児童は学校でのあいさつが年々できているという評価となっています。これは、今年度、教職員があいさつに対する意識を高め、子どもたちに働きかけたことや、代表委員会などによるあいさつ運動の取り組みの成果と考えます。

一方、学校以外のあいさつが十分でない傾向があるため、学区等の方への意識を高めていきたいと思えます。そのために、上学年が手本となる縦割り班においてあいさつの活動を展開し、通学班におけるあいさつ等にも目を向けながら、学校と家庭、地域が一体となって、当たり前にあいさつのできる子どもたちにしていきたいと思えます。

質問項目		R6	R5	R4
②学校であいさつや返事が、よくできる。	児童	91%	86%	83%
	保護者			68%
③学校以外の場所で、あいさつや返事がよくできる。	児童	83%	80%	77%
	保護者	71%	74%	76%
⑩学校で、本をよくよんでいる。	児童	63%	67%	63%
	保護者			
⑪家で、本をよくよんでいる。	児童	58%	63%	61%
	保護者	46%	47%	47%

問⑩の読書については、学校・家庭共に昨年度に比べ若干下がっています。これは、日課を見直し業間の休み時間を拡大したことによる外遊びの増加が要因の一つと考えられます。今年度完成した新しい図書室をさらに魅力的なものにし、今まで以上に本に親しむ子どもたちを増やしていきたいと思えます。

問⑤「宿題や提出物をわすれない」では、児童 81%、保護者 84%と昨年度より高くなっています。とても良い傾向と思います。また、こうした安定した学校生活が問①「学校はたのしい」につながっているのではないかと考えます。

問⑫「ふこうずっ子の家庭学習」の時間のめやすを守って学習している児童が約8割、保護者は6割を切っており、毎年ギャップを感じます。子どもはやっていると思っている

学習が、保護者からはそのように見えないこともあるのかもしれません。学校では、子ども自身の興味・関心に基づいた自発的な学習ができるようにはげみ学習(自主学習)を取り入れています。はげみ学習で参考になる児童の取組の紹介など、子どもたちが意欲的に家庭学習に向かえるよう、今後も工夫していきます。家庭での声掛けも引き続きお願いします。

問⑬「早寝早起き」について本年度、子どもは昨年度同様83%、保護者は今年度7%上昇しました。今年度、学校保健委員会で「すいみんとメディアとの関係」について学んだことも影響しているのではと考えます。早寝早起きは充実した学校生活の基礎であり、心身の健康及び成長にも大きくかわります。

目安ではありますが、低学年9時、中学年は9時半、高学年は10時までに寝ることができるよう今後も家庭で取り組んでいただけたらと思います。学校では、授業や保健日より、学校保健委員会等で睡眠の大事さを伝えていきたいと思っています。

問⑭の児童は、9割以上の児童が朝ごはんを食べてきています。また、朝の時間のない中、多くの家庭で栄養のバランスを考えた朝食を準備してくださっていることに感謝します。

問⑯問⑰は、「自己有用感」や「自己肯定感」についてです。問⑯⑰共に児童の数値は昨年度とほぼ同程度です。周りのために働きかけようとする子どもたちが増えていることに、子どもたちの視野の広がりを感じます。自己肯定感も自己有用感も周りが自分を認めてくれたことで身に付くものです。子どもたちには、その努力や経過を認めていくことで、さらなる自己有用感や自己肯定感を高めていきたいものです。

最後に、保護者質問で高評価をいただいた項目です。昨年度より若干評価が下がったところもありますが、継続的によい評価をいただいています。学校での様子の広報や地域講師を招聘しての授業、環境整備等にも努めながら、今後も保護者・地域の方々と共に、深溝小学校の児童が健やかに成長していくことができるよう、働きかけていきたいと思っています。

質問項目		R6	R5	R4
⑤宿題や提出物をわすれない	児童	81%	77%	73%
	保護者	84%	79%	80%
⑫「ふこうずっ子の家庭学習」に書かれている学習時間のめやすをまもっている。	児童	80%	78%	73%
	保護者	57%	58%	58%

質問項目		R6	R5	R4
⑬早寝早起きを守って健康な生活をしている。	児童	83%	83%	74%
	保護者	77%	70%	71%
⑭しっかり朝ごはんを守って健康な生活をしている。	児童	93%	93%	89%
	保護者	53%	56%	59%

質問項目		R6	R5	R4
⑯ともだちや家そくのやくにたつように、自分にできることをすすんでやっている	児童	89%	91%	82%
	保護者	74%	77%	75%
⑰いっしょうけんめいがんばって、勉強や運動をしてよかったと思ったことはありますか。	児童	91%	91%	89%
	保護者	75%	78%	77%

保護者 質問項目	R6	R5	R4
⑫学校の教職員は、児童や保護者に誠意をもって接している。	89%	91%	91%
⑮学校は、通信やホームページ、授業参観や行事等を通して、学校の方針や児童の様子がよく分かるよう広報し、開かれた学校づくりに努めている。	86%	83%	86%
⑯学校は、地域と連携し、積極的に地震災害に対する防災教育に取り組んでいる。	84%	81%	85%
⑰学校は、安全・安心な環境の整備に努めている。	89%	87%	93%

今後に向けて

紙面の都合上、すべての項目について紹介はできておりませんがご了承ください。ご協力ありがとうございました。

今回のアンケート結果を真摯に受け止め、今後の学校・学級経営に生かしていきたいと思っています。また、学区コミュニティやPTA、同窓会等からも意見や協力をいただきながら、深溝小学校の児童が健やかに成長していけるよう努めていきたいと思っています。